

PAZ内住民に対する安定ヨウ素剤の事前配布【P】

ひがしどおりむら

- 青森県及び東通村では、PAZ内住民を対象に安定ヨウ素剤の事前配布に係る住民説明会を開催し、同時に事前配布を実施。平成29年11月12日現在、1,868人に配布済み。【P】
- 今後も継続して説明会を開催し、転入者等への配布や薬剤の更新等を実施。



地区名	対象住民数	配布者数
おだのさわ 小田野沢地区	815人	545人
おいっぺ 老部地区	820人	552人
しらぬか 白糠地区	1,130人	771人
合計	2,765人	1,868人

＜安定ヨウ素剤事前配布説明会＞

青森県及び東通村により、安定ヨウ素剤の効能や服用時期など、事前配布に際し知っておくべき事項を説明。



- 避難住民等に対する安定ヨウ素剤の緊急配布に備え、青森県は計11箇所の施設に合計約424,000丸の丸剤、約1,500gの粉末剤及び乳幼児向けのゼリー状安定ヨウ素剤**6,860**包を備蓄。
- 緊急配布が必要となった場合には、備蓄場所より各市町村が指定する一時集合場所等(計89箇所)及び避難退域時検査場所(候補地計**16**箇所)に搬送の上、対象住民等に順次配布を実施。



(凡例)

- : 安定ヨウ素剤備蓄場所
- : 一時集合場所
- : 避難退域時検査場所候補地

安定ヨウ素剤備蓄場所

青森県: 11箇所

県及び市町村職員により、安定ヨウ素剤の搬送を実施

安定ヨウ素剤の緊急配布を実施

各市町村が指定する一時集合場所等で緊急配布※1
(計89箇所)

ひがしどおりむら 東通村: 7箇所	むつ市: 56箇所
よこはままち 横浜町: 12箇所	ろつかしよむら 六ヶ所村: 13箇所
のへじまち 野辺地町: 1箇所	

避難退域時検査場所で緊急配布※2
(候補地計16箇所)

むつ市: 6箇所	ろつかしよむら 六ヶ所村: 7箇所
のへじまち 野辺地町: 3箇所	

※1: 一時集合場所で緊急配布する4市町村の住民は、避難退域時検査場所(候補地計16箇所)でも緊急配布を受けられる
なお、野辺地町は町内の避難所で配布

※2: 避難退域時検査場所での配布については、候補地のうち発災時に青森県が指定する箇所において配布

国による安定ヨウ素剤の確保体制

- 国は、UPZ内外において安定ヨウ素剤が不足した場合に備えた備蓄を実施しており、全国を5つのブロック(北海道、東北・関東、中部、中国・四国、九州)に分け、5か所の安定ヨウ素剤集積所に平成30年度までに丸剤200万丸、平成31年度までに乳幼児向けゼリー状安定ヨウ素剤15万包の備蓄を実施。
- 緊急配布場所への輸送は、北海道ブロックの安定ヨウ素剤集積所から24時間以内、東北ブロックの安定ヨウ素剤集積所から概ね3日以内、その他ブロックの安定ヨウ素剤集積所から概ね7日以内に完了する体制。



オフサイトセンター
(東通村防災センター)

指示



安定ヨウ素剤集積所

輸送

